



令和4年3月吉日

成瀬高等学校 第42回 卒業式報告

3月5日(土)、第42回卒業式が無事行われました。(卒業生274名)

式次第

開式の辞
国歌斉唱 (CD)
卒業証書授与
校長式辞
祝電披露
送辞
答辞
閉式の辞



卒業証書授与



卒業式会場



答辞



卒業生退場



42期 担任団挨拶

答辞(抜粋) 3年 布施 知重

今思い返すこの学校で様々なことがありました。1年生、体育祭や文化祭の行事で走り回り運営をしている先輩の姿や後夜祭の盛り上がりを見て、その凄さに驚愕しました。自分たちも後輩たちをまとめて引っ張る先輩になりたいと、来年に期待を寄せている中、新型コロナウイルスが流行しました。最初はテストが潰れ喜びあっていました。すぐ終わると思っていたら全国的な休校になり、新クラスの人とはほとんど会えず非常事態が起きていると思いました。そのウイルスがまさか今、今日まで影響を及ぼしているなんて誰が想像できたでしょうか。日常が一瞬にして変貌しました。どんどん変化していくルールなどに振り回されました。その中で理不尽に感じる出来事も沢山ありました。このような理不尽なことは、これから生きていく上でずっと起きていくことだと思います。その理不尽にただ文句を言うのではなく、どのように対応していくのか、これが一番大事なのではないでしょうか。例えば部活は活動日数や時間を制限され、練習量が大幅に減少しました。しかし家で自主練をしたり、zoomなどを使って部員たちとミーティングしてカバーしました。また全校生徒での行事はできなくなりましたが、「せめて学年でやろう」と体育祭は2年生の時は半日、3年生の時には一日かけ、後夜祭も取り入れながら実行しました。分散登校の入れ替わり時間で密を避け話し合い、過去の後夜祭資料を探しあさりどのような運営かを調べたり、競技の禁止事項を守るため今までとは違うルールや競技にしたりと、とても大変でした。この時に生まれた団結力はとてもいい経験、学びになったと思います。この経験を活かして、1、2年生の体育祭をやる時にはサポートやアドバイスもしました。

コロナが流行ってこの学年はかわいそう、コロナが流行ったことを思い出になど言われていたことがありました。しかしその中でも部活や行事は一生懸命行っており、ちゃんとした学校生活を送ってきたと思います。かわいそうだと思う筋合いはありません。これから進む道はそれぞれ違いますが、この成瀬高校での学びを活かして歩んでいこうと思います。

最後になりましたが先生方や今まで支えてくださった人々に感謝いたします。そしてお父さんお母さん、今の後ろ姿は大人っぽく見えているのでしょうか。沢山の心配や迷惑をかけたと思います。まだ幼いところもあるけれどこれから一人前の大人になる姿を見守ってください。お世話になった人への感謝を結びとして答辞とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます。こうして直接お祝いの言葉を送れる日が訪れた事、嬉しく思います。今までの当たり前だった日常が当たり前ではなくなった激動の高校生活ですが、最上級生として高校生活を支えて下さった先輩方に尊敬の年を抱いています。新しい道でのより一層のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

